

# 通訳案内士就業実態等調査

## 登録者の就業率は26.4%にとどまる

### 国交省まとめ

国土交通省がまとめた通訳案内士(通訳ガイド)就業実態等調査のアンケート結果によると、登録者のうち実際に就業しているのは全体の約3割。このうち年間稼働日数30日以下が約5割に達していることが分かった。通訳ガイドの現在の登録者数は約1万2千人、外国人旅行者を2020年に2千万人にする中長期目標を掲げる中で、通訳ガイドの充実が欠かせない。観光庁では、こうした調査結果を基に懇談会を設置し、通訳ガイドの政策、制度のあり方検討を進めている。

同調査は初めて実施され、今年2月3月、都府県に登録している通訳ガイド1万433人にアンケート用紙を郵送し、3446人から回答を得た。登録者のうち実際の就業率は全体の26.4%だった。このうち専業者と兼業者は、全体の10.2%にとどまる。兼業者は、通訳・翻訳業、語学学校講師、教職員、旅行業以外の会社員を副業とした本業とする人が多かった。就業率全体のうち、年間稼働日数が30日以下は54.5%と半数以上に達した。31~50日が11.8%、51~100日が13.4%、101日を超えるのは16.1%だった。年収は100万円未満が62.2%に上った。

専業者では、年間稼働日数101日以上が33.1%である一方で、30日以下が28.3%に達する。年収300万円以上は23.2%だが、100万円未満も38.8%だった。

通訳ガイドは、報酬を得て、外国人に付き添い、外国語で旅行の案内をする業務を行う者。無登録で報酬を得ると、50万円以下の罰金が科せられる。外国人も資格を取得できる。

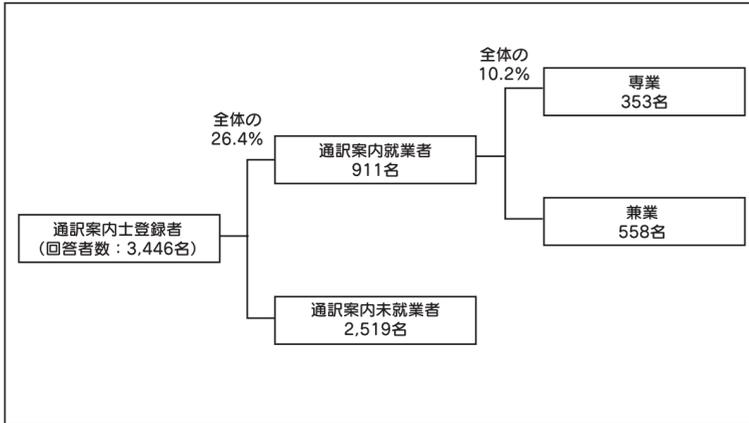
通訳ガイドに関しては、外国人旅行者の増加に対応した人材の確保、活動機会の拡大、質の向上に加え、無資格で営業している違法ガイドの対策などが課題になっている。

通訳案内士の登録者数の推移

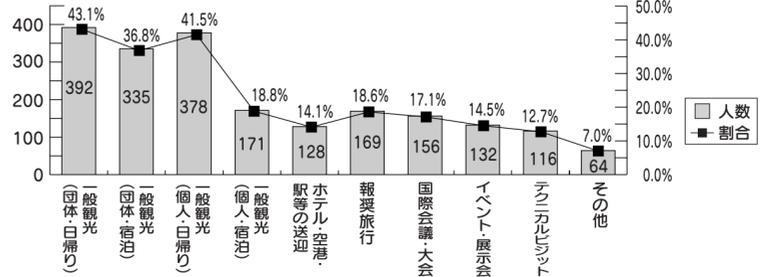
	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	イタリア語	ポルトガル語	ロシア語	韓国語	タイ語	合計(累計)
2008年度	8,353	533	533	455	1,344	110	73	201	584	4	12,190
2007年度	7,490	491	506	427	1,164	104	69	193	512	2	10,958
2006年度	6,985	473	492	428	1,041	98	67	191	466		10,241
2005年度	6,642	462	486	420	893	94	67	189	437		9,690
2004年度	6,417	453	475	405	839	91	64	182	424		9,350

## 通訳ガイドの専業者は全体の10.2%に

通訳案内士登録者の概観

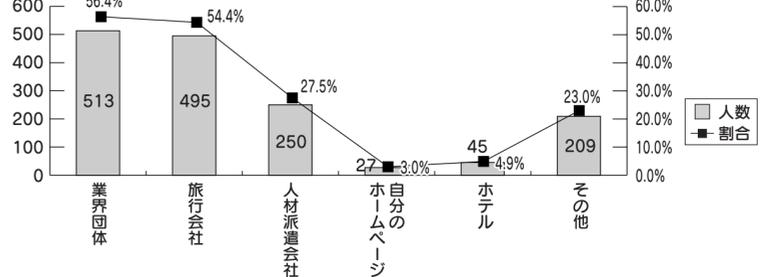


主な業務内容(n=911)

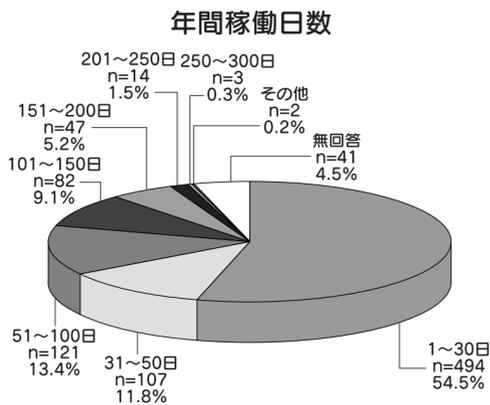


## 仕事は業界団体、旅行会社から取得

仕事の取得方法(n=911)

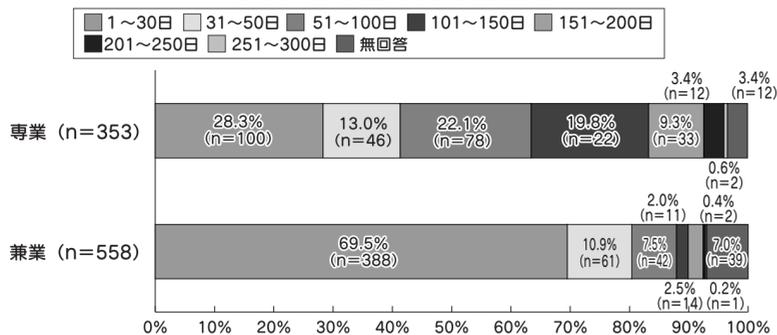


## 稼働30日以下が54.5%に



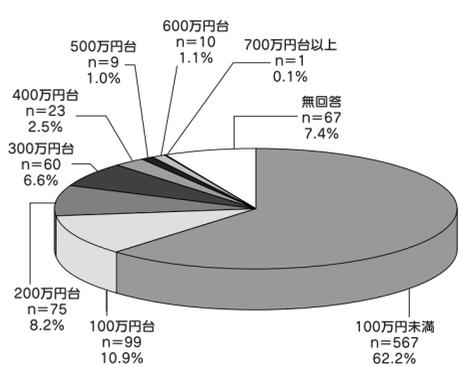
## 専業者は101日以上が33.1%

専業/兼業別年間稼働日数



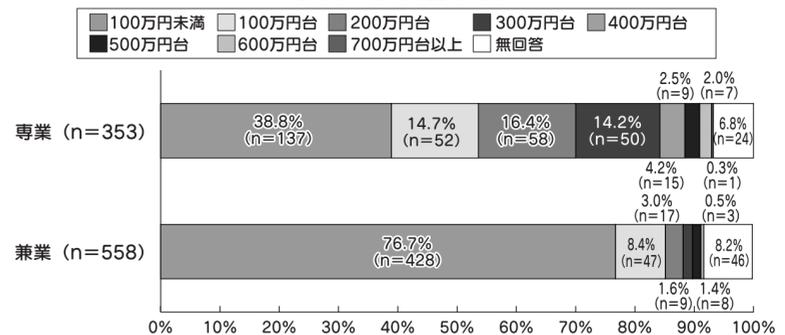
## 年収100万円未満全体の62.2%

通訳案内業による年収



## 専業者は300万円以上が23.2%

専業/兼業別年収



調査データ